

特別支援学級（自閉症・情緒固定）自立活動学習指導案

日 時 令和6年11月12日（水）

第5校時 13:30～14:15

対 象 第1学年 2名

第2学年 2名 計4名

授業者 教諭 長岐 周子

会 場 2階みどりルーム教室

1 単元名 「やぎさわハンバーガーショップを開こう」

2 単元の目標

- A 正確に注文を聞いて、見本を見ながら商品を正しく作ることができる。
- B 役割分担し、友達との関わるができる。
- C 適切な言葉や態度を身に付けることができる。

3 指導観

(1) 単元観

本単元は、特別支援学校指導要領 小学部・中学部学習指導要領(平成30年3月告示)

第7章 自立活動 第2 内容

区分	項目
2 心理的な安定 (A・B)	(2) 状況の理解と変化への対応に関すること
4 環境の把握 (A・C)	(2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること
6 コミュニケーション (B・C)	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること

を受けて設定した。

初めてのことや急な予定の変更などに対応することができず、混乱したり、不安になったりする児童に対し、上記2(2)の指導内容として、予想される事態や状況等を伝えたり、事前に体験できる機会を設定するなどして、状況を理解して適切に対応し、行動の仕方を身に付けさせていく。また行動の仕方を短い文章にし、適切な例を示しながら、場に応じた行動の仕方を身に付けさせることが必要と考える。

感覚や認知の特性上、自分に入ってくる情報を適切に理解し処理することが困難である児童に対し、上記4(2)の指導内容として、絵を見たり、メモをしたりするなど、特性に合った注意集中の方法を積極的に使用できるようにさせたい。児童が、自分の特性に気づき、「この方法ならできる。」という体験を積み重ねていく。

他者の視点に立って考えることが苦手だったり、会話の内容や周囲の状況を読み取ることが難しかったりする児童に対し、上記6(5)の指導内容として、相手の立場や気持ち、状況などに応じて、適切な言葉遣いや場に応じた声の大きさなど場面に合った表現方法を身に付けさせたい。話す人の方向を見ること、話を聞く態度を形成する指導を行う。次に、視覚的な手掛かりを活用して相手に伝えるなどのコミュニケーション手段を使うことを体験させる。また、相手や状況に応じて、適切なコミュニケーション手段を選択して伝える為に、場面設定をしたロールプレイを行う。

(2) 児童観

みどり学級 B1 組は、1 年生 2 名、2 年生 2 名の 4 人が在籍する学級である。予定の把握や、やることの見通しを持たせる為に、絵カード等の視覚的な道具を使ったり、優先順位を示したりすることで学習させてきた。また、注意力が散漫で集中できず、やるべきことを聞き洩らしたり、探し物が見つけれないなど注目すべき箇所がわからなくなったりすることが多い。集中力に関しては、姿勢を正す為の体幹運動を行ったり、刺激を減らす等の環境調整を行ったりしてきた。また、こだわりや勝ち負けの考えで、自分の考えを譲ることができないことがコミュニケーションで課題であると考え。認知の誤りや経験の少なさから、思い込みや勘違いをして友達と言ひ合いになってしまうことがある。自立活動の SST の時間に、友達との関わり方を考えたり、ロールプレイをしたりして、場に応じたコミュニケーションの仕方を実践的に学ぶことで、同じような場面に経験の中から選んで対応する力が育成してきた。

毎日の学校生活と自立活動の時間に、課題に合わせた様々な学習を行ってきたが、今回はお店屋さんごっこを通して、課題に向き合い、学んだことが今後に生かすことができる学習内容にしたいと考える。

(3) 教材観

お店屋さんは、楽しみながら、個々の課題に合わせた学習が複合的にできると考え設定した。共通の目的やイメージをもって活動したり、協同したりする「ごっこ遊び」は、経験したことがある遊びであり、ごっこ遊びの中で、意欲的に取り組むことができると考えた。相手に伝わるように話す力や相手の話を聞く力が身に付けることができるだろう。また役になり切ることで、場面に適した言葉使いを知り、使っていくこともできると考えた。

また、友達と共同することを通して、楽しさを感じたり、人と関わるための社会性が発達したりすることにもつながると考える。以上のことから、題材観に合った教材として設定した。

4 単元の指導計画と評価計画（全 4 時間）

時	目標	学習活動
第 1 時	・学習の流れを知り、見通しをもつことができる。 ・「やぎさわ」というめあてを知ることができる。 ・場面に適した言葉遣いを知ることができる。	○お店屋さんを思い出し、どんなやり取りが行われているかを考える。「ハンバーガーショップ」とはどんなところか考える。 ○学校生活の「やぎさわ」の場面を振り返り、「やぎさわハンバーガーショップ」を開く学習目標（めあて）と見通しを知る。 ○普段の学校生活の中で、具体的に「やぎさわ」を意識した行動を振り返らせる。 ○「ふわふわ言葉」を使い、「ちくちく言葉」を使わないことを確認したり、良くない態度を実演させたりする。 ○メニューを知る ○廃棄品について理解する。

第2時	・オーダー表に、正確にメモを取ることができる。 ・手順通りに、ハンバーガーを作ることができる。 ・折り合いの付け方を知ることができる。 ・役割を理解し、実践することができる。	○レジと調理の役割について知る。 ○各仕事の中の、「聞く」について理解する。 ○各仕事の中の、「見る」について理解する。 ○協力するために必要なことを知る。 ○役割の練習をする。
第3時	・役割を理解し、実践することができる。	○役割の練習をする。
第4時 (本時)	・正確に注文を聞いたり、商品を提供したりすることができる。 ・役割分担し、協力することができる。 ・適切な言葉や態度を身に付けることができる。	○「やぎさわハンバーガーショップ」を開く。 ○振り返りを行う。

5 手立て

- ・メニュー、調理手順、レジの台本を用意することで、視覚的にやるべきことや順序を知ることができるようにする。
- ・誰が、どの役割をするかを掲示することで、すぐ活動に移れるようにする。(板書外計画2参照)
- ・注文表を用意し、注文のメモを取りやすくする。(板書外計画1参照)
- ・作った商品に、商品名を貼り、レジの人の商品確認がしやすくする。
- ・「廃棄品」を設けることで、注文ミスなどの「不注意」や落としたら提供できないという「衛生面」を客観的に理解できるようにする。
- ・「ふわふわ言葉」と、「ちくちく言葉」は自立活動で事前に学習しておく。
- ・単元の目標を意識し、達成を振り返るために、「やぎさわ」の頭文字をとった4つの約束を設定する。(本時の展開参照)

やくそく	・	や	さしく	・	き	ちんと見て、聞く。
	・	さ	わがない	・	わ	からないことは聞く。

各言葉の意味は、以下の通りである。

- 優しく・・・「言葉遣いや伝え方、態度」
 - きちんと見て、聞く・・・「集中して、間違いなく」
 - さわがない・・・「声の大きさに注意し、おしゃべりなどの関係のない話はしない」
 - わからないことは聞く・・・「わからないままにしない」
- 「お互いの話を聞いたり、譲り合ったりする」

- ・毎時ワークシートで自己評価をさせたいが、自分を客観的に見ることが難しいことから、友達にも評価してもらうことで、自分がどこまで目標を達成できたかを振り返らせる。
- ・児童評価は、ワークシートと行動観察で行う。

本単元の目標は、4回の授業の中で課題に向き合わせ評価するが、本来個別指導計画に基づいて、長期的に評価していくものである。本単元学習後も、「やぎさわ」を意識させることで、自立活動の個別の課題達成に向かわせたい。

なお、児童の評価は、「やさしく」「きちんと見る・聞く」「さわがない」「わからないことは聞く」のそれぞれの中から、教員が毎時児童の課題に合ったものを選択し丸を付けてから配布する。

(例) ワークシート A 児

🌈しごとの ふりかえりを しよう!🌈

月 日 回目

○やさしく

ことばづかい	つたえた
△	○ ◎

○きちんと見て、聞いて

見る	聞く
△	○ ◎

○さわがない

声の 大きさ	作る時は 話さない
△	○ ◎

○わからないことは、聞く。

じぶんから 聞く	あいての話を 聞く
△	○ ◎

- ・毎時間、4つの約束を振り返らせる。
- ・本時にみんなと振り返ることはどれかを、丸を付け事前に伝える。
- ・黒板掲示分は拡大し、個人写真を付ける。(板書計画参照)

- ・△の児童は、何が足りなかった子を具体的に聞く。その上で、友達にも評価してもらう。
- ・◎の児童も、どんな時に何ができたと思うかを、具体的に聞く。その上で、友達にも評価してもらう。

6 本時の指導（全4時間中の第4時）

（1）本時の目標

※別紙参照（実態把握表）

（2）本時の展開

	学習活動	☆支援・留意点
導入 (6)	・ 本時の流れを知る。 ・ 役割の確認 ・ めあてと約束を知る。	☆めあて、約束、役割分担は視覚的に分かりやすく掲示する。
	めあて やぎさわハンバーガーショップをひらこう！ やくそく ・やさしく ・きちんと^み見て、聞^きこう。 ・ さわがない ・わからないことは聞^きく。	
展開 (22)	・ 1回目開始（10分） ・ 役割変更(2分) ・ 2回目開始（10分）	☆役割のペアは、事前に教員が決めておく。 また、誰がどの役割になるかを、ホワイトボードに掲示する。 ☆調理場に、具材ごとに整理した皿を置く。 作業スペースは十分確保する。 ☆役割変更は掲示しておき、すぐ活動ができるようにする。 ☆授業の最後に、自分の振り返りと、友達の良かったところを発表することを事前に伝える。
終末 (12) (5)	・ 振り返り ①めあてに対しての自己評価をし、全体に発表する。 ②友達から評価してもらう。 ・ 本学習のまとめ ①普段の学校生活の中で、具体的に「やぎさわ」を意識した行動を振り返らせる。 ②今後も「やぎさわ」を意識して生活していくことを確認する。	☆ワークシートは、「やぎさわ」の項目1つにつき、1つにして振り返りやすくする。 ☆ワークシートは黒板に掲示し、他者評価もできるようにする。 ☆優しい伝え方になるように、事前に伝える。 ☆「やぎさわ」を意識した行ことを覚えると気持ちよく生活できることを理解させる。

（3）授業観察の視点

- ・ 個別の実態に合わせた指導内容にしたことで、一人一人が意欲を持ち、活動を通して自分の課題に向き合うことができたか。
- ・ 他者からの振り返りを聞くことが、自分の課題克服に対する取り組みに気付く（自覚する）ことにつながったか

(4) 板書計画

めあて

やぎさわバーガーショップをひらこう

やくそく ・やさしく・きちんと見て・聞く
・さわがない・わからないときはきく

- 1 めあてのかくにん
- 2 ながれのかくにん
- 3 やってみよう！
- 4 ふりかえり

ふりかえり

(5) 板書外計画

1

注文ひょう

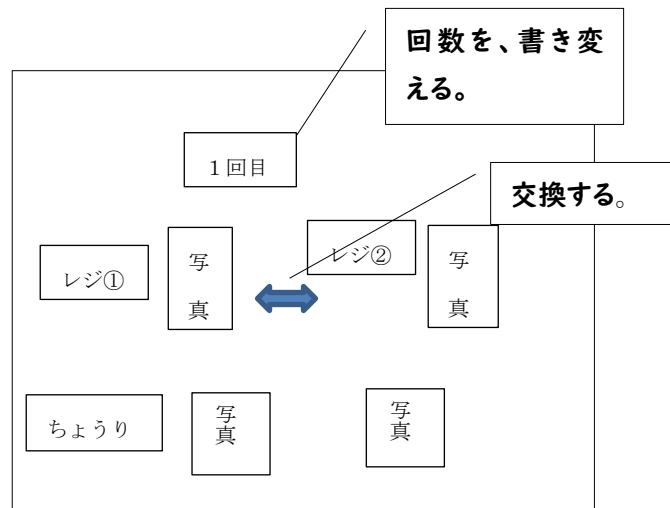
○ハンバーガー
絵

○チーズバーガー
絵

○フィッシュバーガー
絵

○ベーコンレタスバーガー
絵

2



(6)

配置図

